

湖北広域行政事務センター

新斎場整備運営事業



ないそう

内装工事を行っています

内装工事とは？

内装工事とは、一般的には、建物内部の床や壁、天井などの表面を仕上げる工事のことを言います。建築工事の工程では、建物の外側が出来上がり、雨水等が建物内に入る心配がなくなった時点で内装工事が始まります。

内装工事の種類

一般的に、内装工事には、下記のような作業があります。

- ①軽量鉄骨(LGS)下地 間仕切り壁や天井の骨組みとなる軽量鉄骨を組み立てる工事です。
- ②ボード張り 木製や軽量鉄骨の下地の上に石膏(せっこう)ボードなどを張る工事です。
- ③クロス工事 石膏ボードや合板、コンクリートなどの上に壁紙を貼る工事です。
- ④塗装工事 壁や天井などに塗装(吹付け)をする工事です。

今回の工事では、主に軽量鉄骨下地⇒ボード張り⇒塗装工事の流れとなります。



新斎場で内装工事が完了すると

今回の工事では、中庭から優しく入り込む自然光や、壁面を柔(やわ)らかく照らす間接照明、淡い色調の花崗岩(かこうがん)・長浜産木材を用いた木の質感による落ち着いた色調の内装とすることにより、落ち着きと安らぎの感じられる斎場の空間づくりに努めています。

～ 完成イメージ図 ～

